

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1936
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.30, No.7 (1936. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19360701-0139

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

られるに至つたのである。かゝる立場に對して、著者田村氏は新しい問題を提起された。それは二者擇一ではなくして、二者併存の社會的條件が成立し得るといふことである。この點に關する評者の立場は、いまだ斷定的たり得ない。そして、この原始財産形態については、今後も研究せらるべき重要問題と考へられるし、その場合には田村氏の著書の如きは、その最も有力なる一説として考察せらるべきものと考へられる。しかし、この問題は、單なる財産制發展の問題として考へらるべきであつて、現在または將來における財産制問題のためであつてはならぬ。即ちそれは私有財産制擁護のためでも、また共產制の主張のためでもあつてはならぬ。それは純粹な學問的立場のみから考察せらるべきものでなければならぬ。

この問題は社會史、經濟史において、最も困難な問題であり、なほ今後の研究に俟つべきものが多いであらう。田村氏の「財産進化論」はかゝる研究に對して、氏の實際的研究によつて、その態度を決定せんとするものであつて、今後この問題に對して研究するものよき指針であるとともに、氏の前掲の實證的研究に對する理論的序論としても、よまるべきものである。氏は、その前二者をその地方官としての生活の間に得たものであるといふ。この種類の研究に對しては、地方官は種々な便宜を有するであらうが、なほ甚だ困難な問題である。しかし、その困難に打ち勝つて、種々な地方的社會の制度慣習を報告せらるゝことは、大なる學問的貢獻でなければならぬ。この意味においても、本書は推稱せられてよいものと思ふ。(嚴松堂發行)

前號 (第三十卷) 目次

- 欲望論の財政論 永田 清
- 地域的社會調査に關する若干考察 奥井復太郎
- 教會法の理論として現はれたる自然法の觀念 打村 鑛三
- 上總國三ツ作村百姓越訴
— 社會經濟史資料紹介 — 野村兼太郎
- E. P. Adarkar. The Theory of Monetary Policy. 山本 登
- 地方財政改善に關する内閣審議會中間報告 高木 壽一
(内閣調査編纂局)
- 三田學會雜誌第三十卷前半總目次

● 一冊定價金五拾錢 郵税金壹錢五厘
● 半年分金貳圓九拾錢
● 一年分金五圓四拾錢 郵 稅 共

● 編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
● 營業に關する用件は發賣元宛
● 原稿締切期日は發行の前月十日限
昭和十一年六月三日印刷納本 每月一回一日發行
昭和十一年七月一日發行

三田學會雜誌 第三十卷 第三號
禁 轉 載
編輯者 江 田 範 保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目八十二番地
印刷者 金子 鐵 五 郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
金子 活 版 所

發賣元 東京市芝區三田二丁目一番地
丸善株式會社三田出張所
電話三田(45) 一九二六番
振替口座東京 一一八五二番

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會
振替 慶 應 塾 芝區三田二丁目一
口座 東京一八二〇四番